

ホームページ掲載文章

【2010年1月1日から2017年12月31日の間に当院にて腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術を受けられた患者さんへのお知らせ】

課題名：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下椎弓切除術後の椎間可動性の検討

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2010年1月1日から2017年12月31日の間に当院にて内視鏡下椎弓切除術を受けられた、腰部脊柱管狭窄症の症例に対して、術前・術後に施行したX線・CT・MRI画像を使用して、角度変位と椎体すべり度を計測します。今回、術後に発生する椎間可動性について、その因子となり得る術前所見の研究・考察を行います。

1. 既存資料のみを用いる研究であるため、新たに人体試料の採取や治療介入を行うことはありません。また、個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。
2. 患者さんに負担が生じることはありません。
3. 本研究では資金を必要としません。利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。
4. 研究に関してご質問がある方、また、対象の患者さんのうち、データを使用されたくない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

問い合わせ先：研究責任者 川崎医科大学 脊椎・災害整形外科学 射場 英明
〒701-0192 倉敷市松島 577
TEL：086-462-1111 FAX：086-464-1175
電子メール：seikei@med.kawasaki-m.ac.jp